

コンポーネント実行時のゾンビプロセスについて

2011/04/22 13:43 - kurihara

ステータス:	終了	開始日:	2011/04/22
優先度:	通常	期日:	
担当者:	kurihara	進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
静岡大 清水様からの報告			
LinuxでRTCを動かし、psコマンドでプロセスの状態を眺めていて気づいたのですが、コンソールからコンポーネントを起動すると、以下のようにゾンビプロセスができます。			
<pre> USER PID %CPU %MEM VSZ RSS TTY STAT START TIME COMMAND * * * 16971 0.2 0.3 42816 6148 pts/0 Sl+ 17:54 0:00 ./ConsoleOutComp * * * 16976 0.0 0.0 0 0 pts/0 Z+ 17:54 0:00 [sh] <defunct> </pre>			

履歴

#1 - 2011/04/22 13:46 - kurihara

- ステータスを新規から担当に変更
- 担当者をkuriharaにセット
- 進捗率を0から80に変更

こちらで調査いたしましたところ、RTM側でpopen()に対するwait()もしくは、waitpid()の処理が抜けていることが判明いたしました。

RTCでどのネットワークインターフェースを使用するかを判別するために、"route"もしくは"ip"コマンドをpopen()を用いて実行してます。

OpenRTM-aist/src/lib/coil/posix/coil/Routing.cpp内のpclose(fp);の後にwait(NULL);を入れる事で、こちらではゾンビプロセスは出なくなりました。(暫定対応)
(#include <sys/wait.h> も必要です。)

wait()もしくは、waitpid()の処理を追加する必要があります。
どちらにするかは、要検討。

#2 - 2011/04/27 13:45 - kurihara

- ステータスを担当から解決に変更
- 進捗率を80から100に変更

[r2071](#)にて修正。

#3 - 2011/04/28 00:30 - n-ando

- ステータスを解決から終了に変更

確認しました。